

# 会 議 録

会 議 名	第50回野田市市民活動支援センター運営協議会
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	<p>1 議案</p> <p style="padding-left: 2em;">野田市市民活動団体支援補助金審査会委員の推薦について (公開)</p> <p>2 報告事項</p> <p style="padding-left: 2em;">(1) 令和5年度市民活動支援センターの登録状況について (公開)</p> <p style="padding-left: 2em;">(2) 令和5年度市民活動支援センターの利用状況について (公開)</p> <p style="padding-left: 2em;">(3) 学習会(助成金、パソコン)の開催結果について (公開)</p> <p style="padding-left: 2em;">(4) 令和4年度野田市市民活動団体支援補助金取組事例集について(公開)</p> <p style="padding-left: 2em;">(5) 「のだ市民活動ふれあいフェスティバル2023」 第6回市民活動元気アップふえすたの進捗状況について (公開)</p> <p style="padding-left: 2em;">(6) 野田市市民活動団体支援補助金交付規則の改正について(公開)</p>
日 時	令和5年7月27日(木) 午後2時から午後3時40分まで
場 所	野田市役所2階 中会議室1、2

出席者氏名	<p>会 長 竹澤 勇司 副 会 長 立山 喜弘 委 員 岩井 勝治、北倉 恵美子 事務局等 市民生活部長 宮澤 一弥、市民生活課長 須賀良平、市民生活課長補佐 岡田 敦子、市民生活課コミュニティ係長 高梨 清美、市民生活課主任主事 山田 典生、市民活動支援センター長 関口 一夫、主任コーディネーター 釜田 正雄、コーディネーター 荒井 ハツヨ、コーディネーター 渡邊 勝男、支援補助員 向佐 美知子</p>
欠席委員氏名	武智 多恵子、加藤 眞智子、名代 ちよ子、芝田 栄太郎
傍 聴 者	1名
議 事	第50回野田市市民活動支援センター運営協議会の会議の概要は、次のとおりである。
<p>1 開会 事務局から開会を宣言。 会議の成立について報告。 会議録作成のため、録音をすることについて了解を得た。 傍聴人の申出があり承認したことを報告。</p> <p>2 市民生活部長挨拶 宮澤部長挨拶</p> <p>3 議事 議案1 野田市市民活動団体支援補助金審査会委員の推薦について (資料 議題1) - 1～2 議長(竹澤会長) 議案1について、説明を求めた。 須賀課長 議案1 野田市市民活動団体支援補助金審査会委員の推薦についてを説明した。</p>	

議長（竹澤会長）

委員に意見を求めた。

《異議無し》

議長（竹澤会長）

原案のとおり了承する。

報告事項(1) 令和5年度市民活動支援センターの登録状況について

(資料 報告 1) - 1 ~ 2)

議長（竹澤会長）

報告事項(1)について、説明を求めた。

向佐支援補助員

報告事項(1) 令和5年度市民活動支援センターの登録状況についてを説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項(1)について、委員に意見を求めた。

立山委員（副会長）

登録団体の推移を見ると、平成29年から増加しているが、増加の理由を教えてください。

釜田主任コーディネーター

平成27年度から市民活動支援センターへ名称が変更になり、運営協議会委員の方々に御協議いただき、市民活動支援センターの組織の充実を図るということで、平成28年4月から、センター長を配置し体制を強化してきた。現在は、センター長、支援補助員、主任コーディネーター、コーディネーターという体制になっており、新規の登録に向けて活動、努力をしている。

各委員

特に無し

議長（竹澤会長）

意見がないようなので、報告事項(1)については、以上を報告事項とする。

報告事項(2) 令和5年度市民活動支援センターの利用状況について

(資料 報告 2) - 1 ~ 2)

議長（竹澤会長）

報告事項(2)について、説明を求めた。

渡邊コーディネーター

報告事項(2) 令和5年度市民活動支援センターの利用状況についてを説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項(2)について、委員に意見を求めた。

北倉委員

利用が増加していることは、活動が充実してきたということで、大変良いと思う。

岩井委員

活動が活発になったことで、会議室の利用が増加したのは、非常に望ましいことだと思う。

議長（竹澤会長）

他に意見がないようなので、報告事項(2)については、以上を報告事項とする。

報告事項(3) 学習会（助成金、パソコン）の開催結果について

（資料 報告 3）－1～3）

議長（竹澤会長）

報告事項(3)について、説明を求めた。

荒井コーディネーター、向佐支援補助員

報告事項(3) 学習会（助成金、パソコン）の開催結果についてを説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項(3)について、委員に意見を求めた。

相談に来た会員に助成金申請について、分かりやすく説明するのは良い。

今、子どもゆめ基金と生き生きシニア活動顕彰が審査中ということだが、「いつ頃結果が分かるのか」というような問合せはあるか。

荒井コーディネーター

特にはない。例年申請している団体なので、決定はある程度予定していると思う。

議長（竹澤会長）

何回も申請している団体はあるか。

荒井コーディネーター

全体的には何回も申請している団体が多いが、新しい登録団体も申請してみようとか野田市の補助金も申請してみようと思っている方が多いので、すごくやりがいを感じている。

議長（竹澤会長）

初心者向けのパソコン基礎講座を今まで実施してきたが、講座の内容が物足りなくなってきたようだが、現在の講座は、いろいろな対応が、どこまでできるのか。

向佐支援補助員

基本的には、マイクロソフト社のソフトで、ワード、エクセル、パワーポイントあたりを中心に対応することが多く、Windows 10 と Windows 11 を両方対応できるテキストなどの講座資料を用意している。あとは、動画を作りたい、パソコンのプリンターの調子が悪いというような相談もある。可能な範囲で答えられるような形で対応をしている。

北倉委員

団体の要請に沿ったものを個別対応ということで、パソコン学習会に取り組んでいただいていると思う。最近では、チラシを作るよりも、インスタグラムやツイッターなどを活用していった方が良いと思う。若い方のグループでは、積極的に活用できるが、年配のグループは、取り組もうと思ってもなかなかできないので、消極的になって会員の拡大ができないのではないかなと思う。

活動の内容を聞いてみると、市民活動として楽しくて面白い。年配の方にインスタグラムやツイッターが広がれば、もっとその同年代の方たちの楽しみになるのではないかなと感じる。

立山委員（副会長）

パソコンの操作はもちろんのこと、スマホの使い方、例えばPay Payなどの使い方を教えてくれるところが余りないような気がする。そういったことも教えてくれるのか。

向佐支援補助員

飽くまで市民活動に必要な範囲ということであればやらせてもらおう。パソコンからスマホに移行してきているのかな、というのは感じており、視野に入れていかなければならないかなと思う。今後検討していきたいと思う。

北倉委員

話が変わってしまうが、野田市のホームページが大分変わり、非常に見づらくなったという意見を聞いている。自分がたどりたいところがたどれない。特に障がい団体関係が、探せないという意見を聞いた。ここでは全く別のことだが、NPO法人などの障がい関係の方が調べようと思っても、調べられないということはいかなものかと思う。

岩井委員

私も、ホームページで探せなかった。範囲が広がって、入り方が難しくなったのかもしれない。

釜田主任コーディネーター

市民活動支援センターの問合せがあったときに、「どちらで市民活動支援センターを検索しましたか」と質問すると、ホームページからとの回答を多く頂いている。市民活動支援センターのホームページに、各団体の活動等が掲載されているので、センターとしては、逆にホームページを見てからの問合せが多いという実態がある。逆に探しづらいという意見は、今日初めて伺った。

須賀課長

ホームページは、皆様に情報をお伝えするという、非常に大切なツールなので、その目的でリニューアルというはずだが、そのような御意見があるということを担当課に伝えさせていただく。

議長（竹澤会長）

他に意見がないようなので、報告事項(3)については、以上を報告事項とする。

報告事項(4) 令和4年度野田市市民活動団体支援補助金取組事例集について

(資料 報告 4) - 1、別冊4) - 2)

議長（竹澤会長）

報告事項(4)について説明を求めた。

関口支援センター長

報告事項(4) 令和4年度野田市市民活動団体支援補助金取組事例集についてを説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項(4)について、委員に意見を求めた。

北倉委員

毎年事例集を発行しようということによろしいか。

関口支援センター長

今のところその予定である。

北倉委員

交付団体に配布するのと、センターに置くということ、これから交付申請をしようとしている団体に、過去のものがあることの御案内。その他に配ろうという宛先はあるか。登録団体に配布の予定か。

関口支援センター長

事例集については、予算的に送付できないため、案内し、取りに来た方に配布と考えている。センターに配架してあるということで案内する予定である。

議長（竹澤会長）

他に意見がないようなので、報告事項(4)については、以上を報告事項とする。

報告事項(5) 「のだ市民活動ふれあいフェスティバル2023」第6回市民活動  
元気アップふえすたの進捗状況について

(資料 報告 5)

議長（竹澤会長）

報告事項(5)について説明を求めた。

釜田主任コーディネーター

報告事項(5) 「のだ市民活動ふれあいフェスティバル2023」第6回市民  
活動元気アップふえすたの進捗状況についてを説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項(5)について、委員に意見を求めた。

10月13日以降だが、パンフレットの掲示、配布、市報、市ホームページ掲載は、昨年と全く同じような形ということによいか。

釜田主任コーディネーター

前回の反省会の意見で、いち早く市民の皆様に、「どこでどんな団体が、何をやっているかというのを知らせた方がいい」という意見をたくさん頂いた。例年は、事前案内パンフレットについては、詳しく掲載していなかったが、今回は市のホームページ、市報が出るタイミングに合わせて、事前案内のパンフ

レットを作成し、前回当日に配ったパンフレットと同様に、会場ごとのタイムスケジュールを付けた形にし、参加団体を通して配布や公共施設に配架していく予定であり、来場者の増加に努めていきたい。

議長（竹澤会長）

いろいろ対応していただき、感謝申し上げます。昨年初めて合同で開催したが、同時開催する一番のメリットは、何か。

釜田主任コーディネーター

メリットとして、目的にもあったように、野田ガスホール、中央公民館、総合福祉会館、駐車場を一带で使用できるメリットがある。また、駐車場の混雑緩和、三つのイベントが一つということで、それを支える体制、人員配置等について、強化体制が整えられるということがある。

さらに、参加団体からイベントの回数が多いので、負担が大きいという意見もあった。何とか回数を減らせないかということで、元気アップふえすたに参加している団体と既に同時開催をしていたふれあいハートまつりと福祉のまちづくりフェスティバルの参加団体の中で、重複している団体があったため、三つを同時開催とすることで負担を少なくすることができたと思う。

福祉ボランティアから始まって、市民活動ボランティア団体からNPO法人までの幅広い市民活動を、一堂に皆さんに紹介できるというメリットはあるのではないか、と考えている。

議長（竹澤会長）

過去2回12月でしたが、非常に寒くて、今回1か月近く早くなったということで、いろいろな面で影響すると思うが、いかがか。

釜田主任コーディネーター

課題の一つとして、参加する団体の年間スケジュール、使用する会場の開き状況等を考え12月ということで始まったが、12月では寒かったので、できるだけ早く開催したいと参加団体からも強く要望していた。その願いがかなって、今回11月19日になった。

議長（竹澤会長）

参加団体の要望が実現できたのは、大変有り難いことだ。

岩井委員

今回、景品交換所を野田ガスホールに移したのは、人の流れがいいかなと思う。長いこと公民館に交換所を設けていたので、迷ってしまう人がいるかもし

れないが、是非良い方向に流れることを願っている。

釜田主任コーディネーター

前は、勤労青少年ホーム体育室（障がいスポーツ大会）から野田ガスホール（大ホール）までと範囲が広く、人の動線が途切れがちであったため、それぞれの会場で集客するのが難しかったという反省点を踏まえ、会場は、中央公民館と野田ガスホールの2か所とし、景品交換所を中央公民館から野田ガスホールのロビーに変更した上、外の通路に販売団体のテントを並べることで、人の流れが自然に野田ガスホールに行くような配置を考えている。

いつも運営協議会委員の皆様には、ボランティアとして協力していただき感謝申し上げます。また、御協力をお願いしたいと考えている。

議長（竹澤会長）

今までの反省点が生きているなど思う。

本当に有り難いと思っている。

北倉委員

三つの事業の同時開催なので、参加団体から自分のところの出店に注力してしまっただけに、福祉のまちづくりフェスティバルやふれあいハートまつりで何をやっているか分からず、見られず、大変残念だったという感想が聞かれた。

去年は、テントを出す場合は自力で出してくださいと、ふれあいハートまつりや福祉のまちづくりフェスティバルから申合せがあったようだが、福祉団体はそういった力仕事ができないため、テントを断念するという意見を聞いた。

この三つのイベントをコーディネートするのが市民活動支援センターなのか。

釜田主任コーディネーター

そうではない。第1回目はこの三つの事業を統括するのは、福祉という観点から福祉部が中心となりやっていくという意見があった。福祉部は、福祉のまちづくりフェスティバルの担当であって、ふれあいハートまつりまでは掌握していない。一つの事務局であった。そこで、市民活動支援センターとふれあいハートまつりは、中央公民館（総合福祉会館）を効率よく使わなくてはならないという物理的なこともあって、どちらかという支援センターが指導的な立場で、ふれあいハートまつりと一緒に実施した。

ただ、それでは少し最初の目的とは違うということで、2回目は福祉部が取りまとめをするということで、事務局打合せなどを行った。いろいろな諸事情

があり、なかなかその三つの事業をまとめるというのは非常に難しい。一番必要なことは、来場する市民の方が見やすいような配置と動線を考えていかななくてはならないということであり、今一度、課題を出し合って、進めていきたいと思う。

市民と団体の交流が、元気アップふえすたの大きな目的の一つである。実演、体験するに当たり、時間的な余裕を持たせ、各団体とも交代制にし、他のブースを見に行けるような体制にしていこうと参加団体の打合せ会議で話している。8月4日の打合せ会議でも説明するつもりである。

ただ、参加団体の人数を見ていると、本当に少ないところもあるので、同じ会場内の団体の交流は積極的にしていこうということで、できる範囲でやっていきたいと思う。

#### 北倉委員

元気アップふえすたの参加者は閉会式まで残っていたが、福祉関係の方々には、自分のところが終わったら早く撤収して帰る現状があり、昨年の閉会式は、人数が少なく大変寂しい感じになってしまった。今日、ここに出展して良かったという思いで帰ってもらいたいなと思っているので、よろしく願いしたい。

#### 立山委員（副会長）

確かに三つの事業をまとめるというのは大変だと思う。

今回、食べ物や品物コーナーなどを作ったりして、動線を結びつけるということは良い発想だと思う。昨年は、コロナの影響と天候が余り良くなかったので、来場者が少なかったような気がする。来場者の見込みを今年は1,000人としているが、これを確保するには、相当努力をしないとイケないような気がする。広報が少ないと言っている人もいる。市報等で市民にはお知らせしているが、もっと市報で、大きく掲載してもらえればと思う。

ロビーにパネルを配置しないで実施すると聞いているが、それで良いのか。高齢になると、パネルを運ぶのは大変なので、パネルを使用しない会場作りをしてもらいたい。

#### 釜田主任コーディネーター

パネルを使用すると、搬入搬出、会場の広さや動線も難しくなるので、令和元年度から、元気アップふえすたが中央公民館1階ロビーを利用する場合は、既存の掲示板を利用することにした。既存の掲示板には、各団体のチラシやパ

ンフレットが貼ってあるので、全部写真に撮って、復元するようにしている。他の団体では、元気アップふえすたと同じようにはできないということで、パネルを使用した。今年度1階ロビーを使用するのは、元気アップふえすたになるため、パネルの使用はない。今回、ホワイトボードを使用したいという団体が2団体あるので、ホワイトボードの搬入はする予定である。

議長（竹澤会長）

活発な意見交換ができて、それが基本的に良いものつながっていくのかなと思うので、今後ともよろしく願いしたい。

他に意見がないようなので、報告事項(5)については、以上を報告事項とする。

報告事項(6) 野田市市民活動団体支援補助金交付規則の改正について

(資料 報告 6) - 1 ~ 3)

議長（竹澤会長）

報告事項(6)について説明を求めた。

須賀課長

報告事項(6) 野田市市民活動団体支援補助金交付規則の改正についてを説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項(6)について、委員に意見を求めた。

北倉委員

組織基盤強化支援の補助金については、令和4年度と5年度の応募がなかったというのは、報告(6)の2の表ではどのように表現されているのか。

須賀課長

当初申請して、継続して2年目、3年目の交付を受ける団体となるが、新規の申請がなかったという意味である。

北倉委員

この表では分からない。組織基盤強化支援の補助金は、見直す必要があるということが良いか。

須賀課長

当初、様々な目的や想定をして補助を開始して7年が経過し、ある程度年数が経過したということで、これまで補助金を活用された団体の活動が活性化さ

れたなどの意見や感想を聞き、今後の補助金の検討をさせてほしいということで考えている。

北倉委員

これまで、組織基盤強化支援の補助金をもらった団体にアンケートを実施して、それを集計して私たちに見せるということか。

須賀課長

まだ具体的な構想まではできていないが、本日は委員の皆様の意見を伺い、こうしたらもっと進展が図れるのではないかとというようなことを考えている。

北倉委員

了解した。

釜田主任コーディネーター

例えば、申請がなかった理由はどういうことなのか、来年の令和6年度の見込みはどうなのかと聞いてもらった方が答えやすい。

関口支援センター長

設立後5年未満の団体の申請は数が少ないのと、設立してもコロナの関係で、活動ができなくて、補助金で何を請求したらいいかわからないという団体も多かったため、新規受付は2年続けて0件という状況になっている。今年度の登録団体の報告の中で、若い団体の申請が幾つかある。設立5年未満の団体で、強化支援の補助金をもらいたい団体は、幾つか候補として考えられる。予算の関係もあって、1年で3団体が申請限度になっている。複数の団体からの申請があった場合は、競合する形になる。それも含め今後検討しなくてはならないと思う。

岩井委員

新しく作った団体が軌道に乗るまでの補助金については、今までの資料を見ても、団体が少ないので、ある程度減るのはやむを得ないのではないかと無理して増やすこともないかと思う。制度として残しておいて、該当する団体が出たら、一生懸命支援してもらおう。既に活動している団体について、困っている団体があればお手伝いする。この基本的な考え方で良いのではないかと思う。私の考え方が一般的かどうか分からないが、私は補助金というものは、余り良しとしない。補助金では団体が育たない。魅力的にしっかりやる。余り補助金が主にならないようにすることが大切かなと思う。

議長（竹澤会長）

御意見いただき感謝申し上げます。しかし補助金は必要ではないか。

岩井委員

必要だけれども、補助金だけに頼らないように気を付けてやっていかないと、補助ではなくなる。

北倉委員

補助金に頼りすぎないように。

立山委員

補助金のための活動になる。

議長（竹澤会長）

今年度で7年目ということで、コロナがあって2年ぐらいは、活動もできない。新しい団体も生まれづらかったということを見ると、実質4、5年で、この交付実績ということだが、団体の課題となっている会員の確保につながっていないというのは、少し早計かと、個人的に思う。補助金の使い道を見ても、機材関係での購入に使われている団体が非常に多い。まちづくりの進展とか団体の課題となっている会員の確保については、例えば楽器を買ったから、機材を増やして会員増につながるのかというのは、少し違う要素もあるのかなと思う。全然ないとは感じないが、それだけ活動の内容が深く進んでいくわけだから、内容のあるものになっている。会員の増加、これは各団体の本当の課題ということで捉えてもらって、補助金があって、考えを引き出せるというような要素につなげていってほしいと思う。補助金の目的を達成するまで、これまでの交付実績を検証し、課題を話し合っていく必要があるのかなと考えている。

今年度の審査にも、この資料を生かしていただければと思う。

立山委員（副会長）

補助金審査会委員をやって気が付くのは、全国ネットワークでやっているような大きい組織で、支部があって、その支部が補助金をもらうというのは、いかななものかと思っている。今後検討してもらった方がよろしいかと思う。本当に困っている、小さな団体に目を向けてもらいたいと思う。

議長（竹澤会長）

他に意見がないようなので、報告事項(6)については、以上を報告事項とする。今日は、出席人数が4人だったが、いろいろな意見が出て本当に良かった。

高梨コミュニティ係長

次回の運営協議会の日程について、10月25日（水）で開催したいと考えている。時間は午後2時から、場所は2階中会議室で開催したい。

次回議題については、元気アップふえすたの進捗状況と、補助金の規則の見直し等についてを予定している。

議長（竹澤会長）

次回の運営協議会の日程について、委員に問うた。

《各委員に確認》

委員に問うた結果、10月25日（水）に決定する。

議長（竹澤会長）

会議の閉会を宣言した。